

主催：広島国際大学 『咲楽塾』

講師：株式会社シンビオシス 島村 雅徳 先生
株式会社ドリーム・ジーピー 荒山 元秀 先生
担当者：リハビリテーション支援学科 森永 浩介

○ 開催の概要

日時：10月23日（日）

開場：広島国際大学 広島キャンパス 8階 801 教室
(〒730-0016 広島市中区鞆町 1-5)

○ 第1部（ベーシック：学生～社会人の方へ）

時間：1 限目（09:00～10:30）90 分

2 限目（10:40～12:10）90 分

（内容）足と靴のフィッティングを中心としたデジタル化の意義について。

1 限目：（09:00～10:30）90 分

- 義肢装具士になぜ一般靴の知識が必要とされるのか
- 足に良い靴の知識（卒業後、患者さんへのアドバイスのため）
- 靴を選択する際の採寸の方法
 - ⇒ アナログな方法とデジタルな方法。ここからデジタルの話
- デジタル化とは何か？
- 採型、採寸をデジタル化するメリットについて
- 3D Scanner の紹介
- スキャンのデモ
 - ⇒ デモ終了後、休憩時間の間に、参加者の足のスキャンを行います。

2 限目：（10:40～12:10）90 分

- スキャンしたデータの見方（解説）
 - 情報の活用方法
 - 靴の適合への利用方法
 - 疾患と靴の選択について
- （医療的な内容を含めて足と靴の知識に関して復習していきます）

○ 第2部（アドバンス⇒主に企業対象）

時間： 3限目（13:00～14:30）90分

2限目（14:40～16:10）90分

（内容）足と靴、足底装具での対応を中心としたデジタル化の意義について。

3限目：（13:00～14:30）90分 理論編⇒デジタル革命で何が変わるか？

- Industry4.0：世界の生産で起きているデジタル革命
- 情報のデジタル化とデータベース化（ビッグデータ）
- データベース、通信インフラとオンデマンド生産
（ここまで、医療ではなく一般的なデジタル化の話）
- 医療におけるデジタル化とは何か
- 医療のデジタル化で義肢装具生産の何が変わるのか
- デジタル化を利用した足底装具製作の基本的な流れ
（後半は義肢装具の製作の流れに即してデジタル化の話）

4限目：（14:40～16:10）90分 実践編⇒具体的にデジタル化の例を紹介

- 3D Scanner の紹介
- スキャンのデモ
- スキャンしたデータの見方
- データの活用
- トリッシュムスキャナーの紹介
- スキャンデモ
- 足底装具製作への利用（デモ）
- デジタルで製作する際のコスト（既存の方法との比較）

セミナー当日のご連絡

- 当セミナーは、無償です。
セミナー会場に昼食準備、販売場所はございませんのでご了承ください。持参された食事等は、広島キャンパス 15 階(幟町カフェ)で飲食可能です。
- セミナー参加される方は、事前に下記の連絡先にご連絡ください。

連絡先

広島国際大学 3号館学部事務室

TEL：0823-70-4851

参加される方の氏名・所属・1，2部どこから参加されるかお伝え下さい。